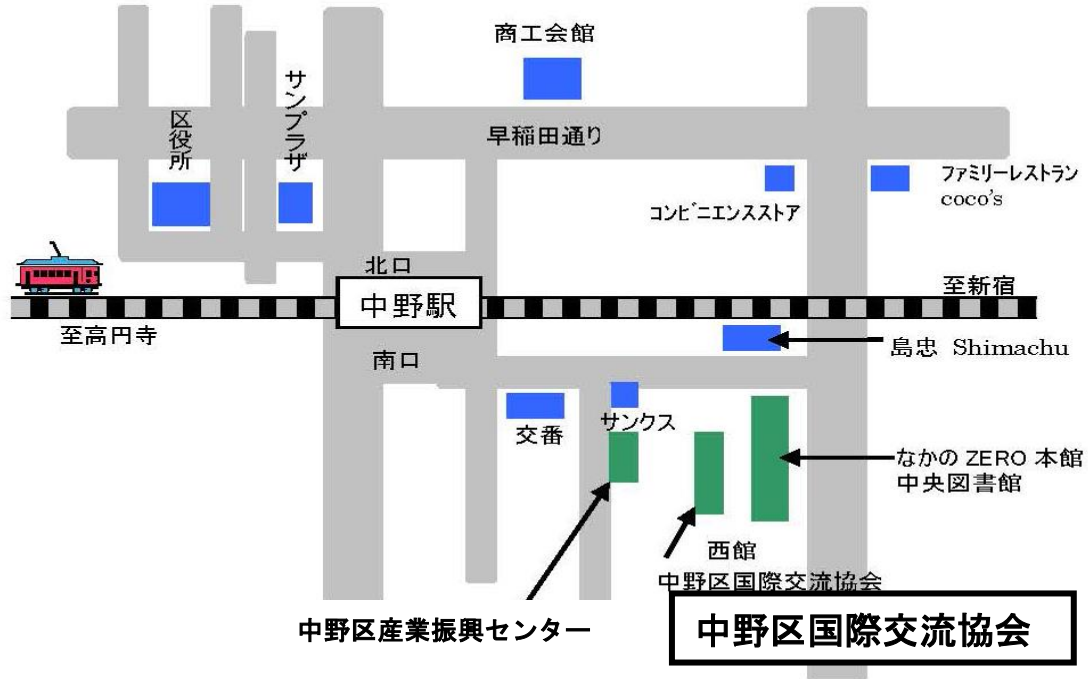


中野区国際交流協会 (ANIC)

Association for Nakano International Communications



中野区中野2-9-7 なかのZERO 西館
電話：03-5342-9169

日本語ボランティア

実践講座

受講者募集



中野区国際交流協会では、地域にお住まいの外国人の方々に日本語を教える講座を開いています。この日本語講座で学ぶ外国人は、約 150 人。30 年以上の歴史を誇るこの日本語クラスで、現在は約 150 人の日本語ボランティアの方々が活躍中です。

講座の内容は、受講者参加型の実践的な講座です。

日本語ボランティアになって、言葉を教えることだけでなく、外国

人の方々との交流を深める機会ともなります。

当協会のボランティア活動に積極的に参加できる方の応募をお待ちしています。

対象

以下の2つを満たす方

(1) 区内在住・在勤・在学者(当協会の賛助会員であれば区外でも可)で当協会のボランティアとして積極的に活動できる20歳以上の方。

(2) 以下のいずれかまたは複数のクラスで活動できる方。

毎週火曜日 10:00~12:00、14:00~16:00、16:15~17:50

毎週木曜日 16:15~17:50、18:30~20:30

※日本語およびその他の教育関連の資格や経験は問いません。

※外国語の資格や能力は必要ありません。

※この講座は、受講後に当協会の日本語講座で活動していただける方が対象です。

期日・時間

2023年11月21日から2024年3月26日までの原則毎週火曜日。全15回。

午後6時半から9時まで

会場

中野区国際交流協会 会議室 (中野区中野2-9-7 中野駅南口徒歩7分)

講師

NPO多文化子ども自立支援センター代表理事

東京の日本語教育を考える会 代表

中山真理子 氏

定員

30人 (抽選有) ※受講者には、11月上旬に個別に通知いたします

受講料

15,000円(賛助会員13,000円)。教材費1,900円別途

応募方法

以下の2点を中野区国際交流協会までご持参ください。(郵送・メール不可)

(1) 小論文「地域の多文化共生と日本語ボランティアの役割」

400字詰め原稿用紙に1,000字程度で。※自筆 (パソコン等不可)

(2) 必要な項目を記入した所定の「受講申込書」

応募締切

10月27日(金)

問合せ

中野区国際交流協会 〒164-0001 中野区中野 2-9-7 なかのZERO西館

受付時間 平日:9:00~17:00 (ただし、火・木は、19:00まで)

電話 03-5342-9169 メール anic@nifty.com

中野区国際交流協会の日本語講座の概要

■日本語講座とは

中野区国際交流協会の日本語講座は1989年に始まり、ボランティア実践講座は今年で35回目となります。協会の日本語講座は20代からシニア世代まで約150名の日本語ボランティアの方によって支えられています。ボランティアの皆さんは、講座終了後も継続的に日本語指導の勉強会を続けており、指導力・情熱ともに区内外から非常に高い評価を得ています。(1997年度第28回博報賞(国語教育・日本語教育部門)受賞。)

■日本語講座の運営

1. ボランティア(日本語を教えるボランティア)

日本語ボランティア実践講座修了者。

2. 開講時間

- | | | |
|----------------|-------------|----------------------|
| ・火曜日午前クラス | 10:00～12:00 | } 主に大人が中心のクラス |
| ・火曜日午後クラス | 14:00～16:00 | |
| ・木曜日夜クラス | 18:30～20:30 | |
| ・火曜日・木曜日子どもクラス | 16:15～17:50 | (区内の小中学校に通う子どもたちが対象) |

※夏休み子どもクラス・春休み子どもクラス(月・水・金) 10:00～12:00 もあります。

3. 学習者

区内在住・在勤・在学(ただし日本語学校の学生は不可)の方。様々な国籍の方が日本語を学んでいます。

4. 学習者の参加費用等

- ・登録料: 2000～5000円 ※年齢、住所によって異なります。1年以上休んだ人は、再度登録が必要。
- ・受講料: 無料 ※一度登録すれば、いつまでも勉強することができます。
- ・教材: 400円～1500円 ※中野区国際交流協会が開発した教科書・練習帳を使用。
- ・活動費: 大人 200円

■よくある質問

Q1: どうやって教えるのですか。英語ができないとだめですか。

A1: 日本語クラスの学習者には様々な国籍の方がいますので、共通言語である「日本語」で教える「直説法」を採用しています。外国語を話す必要はありません。日本語による教え方を実践講座で学びますのでご安心ください。また、ボランティア対象のスキルアップのための勉強会も行っています。

Q2: 子どものクラスはどんなクラスですか。

A2: 区内の小中学校に通っている子どもたち約30名が在籍しています。マンツーマン、あるいは同じレベルの子ども数人とボランティア1人の小さなグループで勉強します。

Q3: どんな教科書を使っていますか。

A3: 協会が作成したオリジナルの教材(教科書と練習帳)を使っています。課ごとのテスト用紙もあります。

Q4: クラスはどのように運営されていますか。

A4: クラスは、基本的にボランティアの自主運営です。レベル別の小さなグループで勉強します。日本語が全くできない学習者から、日本語能力の高い学習者まで多様なレベルに対応しています。

Q5: 日本語教授法の資格を持っているのでボランティアをしたいのですが。

A5: 日本語の教え方や質、クラス運営などをボランティア間で統一していただくため、日本語関係の資格や経験をお持ちの方も全員実践講座を受講した後、ボランティアとして活躍していただいています。

